

第3回 町民フォーラム進行表

日 時：23年11月22日（火）

PM6：00～PM8：00

場 所：福島町役場 1階 機能回復室

時 間	内 容	適 用
PM6：00～	開会挨拶 企画グループ参事	
PM6：05～6：25	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ毎に前回の討議内容の確認 ・各自、前回のBW法用紙を参考に、個別課題、解決策等をカードに記入 	前回不参加者のフォロー 私の意見
PM6：25～7：00	<ul style="list-style-type: none"> ・各自作成カードの読み上げと、カードのグルーピングと配置（模造紙上へ関係するグループ、対立するグループ等に因果関係に配慮する） ・グループのタイトルづくり（タイトルカードに書き込み） 	カードのグループ化 グループ間の関連づけ
PM7：00～7：10	休憩	
PM7：10～7：30	<p>《提案に向けた取りまとめ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り組みに向けた、キャッチフレーズの決定。 ・模造紙へのカードの張り込みと書き込み、今後目指す姿を表現する。 マジックの色を工夫しながら、グループ毎に線や図形でくくり、関係するグループや対立するグループ、原因や、結果などを線や矢印で結び、目指す方向、内容等が一目でわかるように仕上げる。 	グループ名とグループ員の名前を書き込む
PM7：30～8：00	<p>《発表》</p> <p>グループ討議結果を発表</p>	グループ発表と質疑
	<p>今後の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表結果の取りまとめ（事務局） ・次回会議の開催日について 	12月に各グループリーダーに集まっていただき、グループ討議結果の集約を行います。

町民フォーラム開催の経過

【第1回フォーラム概要（23.9.12）】

- ◎開会あいさつ 町 企画グループ参事
- ◎開催趣旨と開催概要と町の現状確認
 - ・町担当者より資料に基づき説明
- ◎町民フォーラムの目指すものとスケジュール（予定）確認
 - ・コンサルより資料に基づき説明
 - ・高校生会議の概要報告
- ◎数字ゲーム
 - ・的確な情報取得、情報共有の必要性、重要性の確認
- ◎各自BW用紙への書き写し（私の意見）
 - ・定住促進、少子化対策として重要なこと
- ◎グループ分け（8グループ）
 - ・自己紹介と私の意見発表（問題発見と目的の共有）
 - ・リーダーと記録係の選任
- ◎終了

【第2回フォーラム概要（23.10.28）】

- ◎開会あいさつ 町 企画グループ参事
 - ・町で検討している定住・少子化対策と農林水産業振興に向けた担い手確保策の説明。
高校生までの医療費無料化、出産祝い金、定住住宅建築助成金等
- ◎前回検討内容等の確認（第1回欠席者へのフォロー）
- ◎町民アンケート結果等の概要報告（資料配布）
- ◎各自意見のBW用紙への書き込みとグループ討議（7グループに統合）
 - ・グループ内でのBW用紙書き廻しによる意見交換（アイデアを出し合う）
 - ・BW用紙を基にグループ討議（討議内容をメモに書き出し）
- ◎町からの提案
 - ・先進事例視察の希望者への案内
- ◎終了

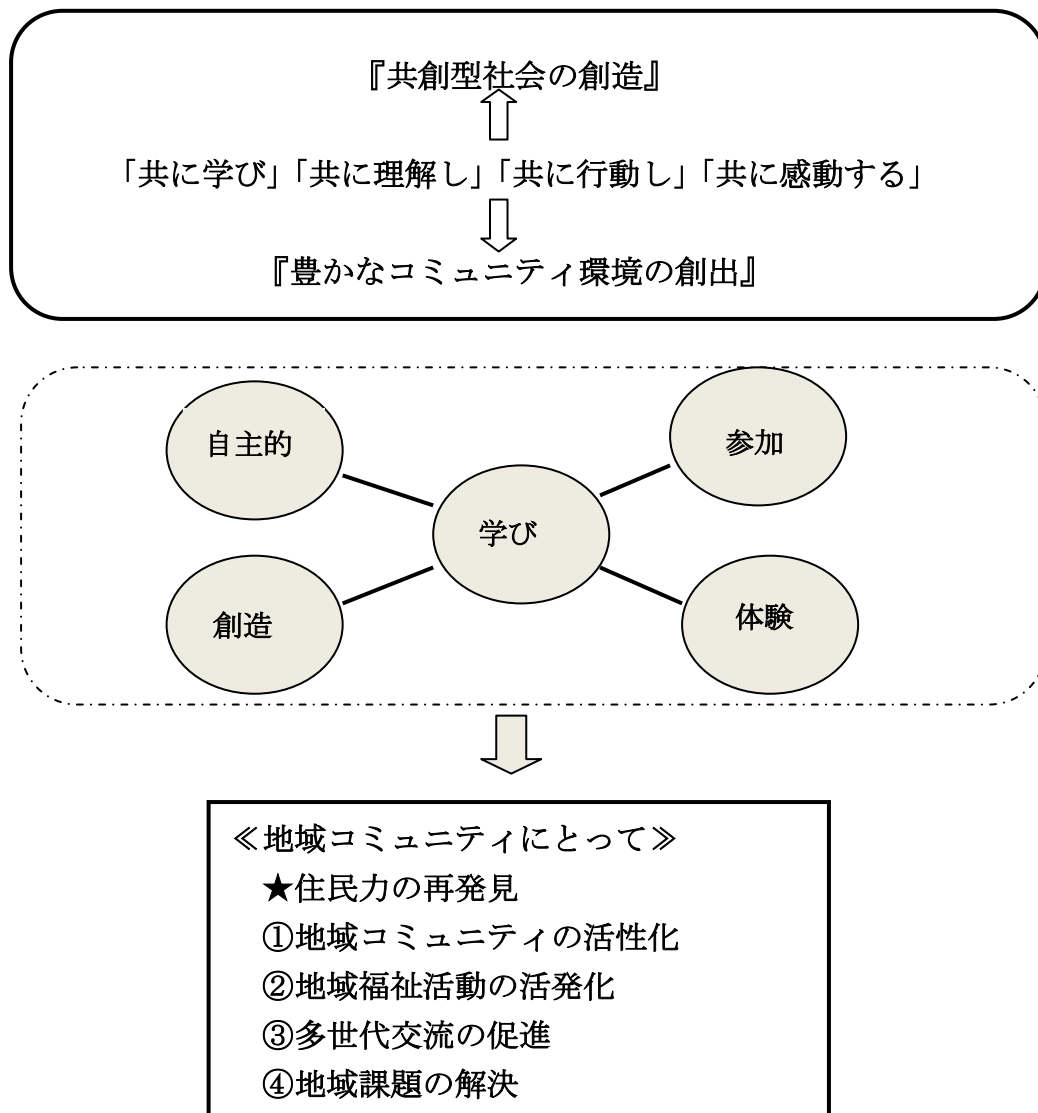
参考

《若者定住、少子化対策促進にむけた共創のまちづくり》
～住民による 住民のための 住民のブランドづくり～

◎町民フォーラム参加者の協働により『日常性の中に非日常性の華が咲く』

これからは、住民一人ひとりの生活の仕方、働き方、価値観などを主体にしながらも、地域の歴史、文化を共有し、生まれ育った地域社会において、共に助け合い、協働し、就労や交流活動、快適な生活の場が確保されるという、新たな暮らし方を創造していくことが求められます。

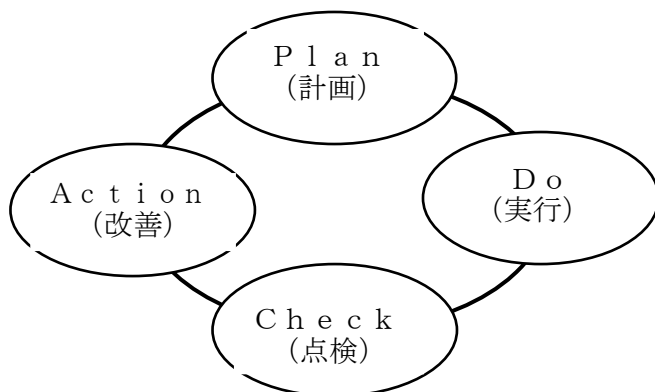
- ・「新たな暮らし方の創造（地域での共生）」を目指す。
- ・自分たちが住む町は、自分たちで守り創る。
- ・私が主役、「ヒト・モノ・カネ・ジョウホウ・ジカン」の最適化（6W2H）
- ・各世代に求められるサービス創出を目指す（コミュニティビジネス等を育てる）



■《中高生アンケートで「あったらよい」とされる施設》

	施設（店舗等）
1. 生活店舗	デパート（百貨店）15、ドラッグストア14、大型スーパー14、ファーストフード11、ディスカウントストア9、カフェ7、ファッション衣料店7、コンビニエンスストア6、本屋3、レンタルビデオ店3、ホームセンター2 等
2. 娯楽施設	ゲームセンター29、カラオケ店21、レジャー・スポーツランド13、エステティックサロン3、カジノ3、バッティングセンター3、温泉3、メイド喫茶、楽器店、映画館、釣り堀、玩具店等
3. 公共施設	スポーツジム4、総合体育館3、総合病院3、図書館、学校、文化ホール、健康ランド、24時間トイレ、博物館、IT館、美術館
4. 交通関連	JR（鉄道）28、バスターミナル6、高速道路5、空港3、フェリー港
5. その他	原子力発電所、各種発電所、工場（軍需）、街灯

■課題解決に向けて・PDCAの確立



Plan（計画）：従来の実績や将来の目標などをもとにして行動計画を作成する。

Do（実施・実行）：計画に沿って事業を行う。

Check（点検・評価）：事業の成果が計画に沿っているかどうかを点検する。

Action（処置・改善）：成果が計画に沿っていない部分を見直し、更新する。

■6W2H（マーケティングキーワード）

- Why（なぜ）-----時代環境
- What（何を）-----提供するサービス
- Who（誰が）-----個人、組織
- Where（どこで）----場所
- When（いつ）-----時期、期間
- Whom（誰に）-----リアルターゲットと周辺ターゲット
- How（どのように）----形式（連携スタイル、サービス提供スタイル）
- How Much（いくらで or どれだけ）

☆第6次産業化：農水産業は、産業分類では第一次産業に分類され、農畜産物、水産物の生産を行うものとされている。だが、六次産業は、農畜産物、水産物の生産だけでなく、食品加工（第二次産業）、流通、販売（第三次産業）にも農水産業者が主体的かつ総合的に関わることによって、今まで第二次・第三次産業の事業者が得ていた付加価値を、農水業者自身が得ることによって農水産業を活性化させようというものです。

☆Uターン：故郷を出て都会で働いていた人が故郷に戻り住み働くこと。

☆Iターン：都市出身者が地方の市町村に移住すること。

☆Jターン：地方で生まれ育った人が一度都心で働き、その後また故郷とは違った別の地方に移住して働くこと。